

下野市立国分寺小学校

1 学校課題

自分の考えをもち、広げ深める児童の育成（第2年次）
—国語科を中心に、学び合い高め合う力を伸ばす指導方法の工夫—

2 研究計画

- (1) 国語科を中心とする授業研究会
 - ・ S&Uコラボ事業 4回、校内授業研究 2回、授業交流会 随時
 - ・ 国語科の研究を主とし、教科を絞ることで研究した成果や課題を次の授業研究につなげるように努める。S&U コラボ事業として宇都宮大学の教授、市教育委員会指導主事に指導・助言を受けながら研究を進める。
- (2) 授業交流会（校内授業研究）
 - ・ 受け持ちの授業のある教師が、原則全員一回研究授業を行う。
 - ・ ブロックの教師＋有志の参加（自主交流会はこの限りではない）。
 - ・ 一人一授業の日時は、原則月曜5校時。
 - ・ 有志による授業（自主交流会）は随時声をかけ、授業研究予定表（ホワイトボード）を活用する。
- (3) 各教科の次期学習指導要領実施への準備
 - ・ 校務分掌ごとに次期学習指導要領への移行準備を行う。国語科における学び合い高め合う工夫を他教科でも具現化していく。



3 研究内容

- (1) 自分の考えをもち、広げ深める児童の育成
 - ① 自分の考えを主体的にもたせるための指導・支援の工夫
 - ② 考える視点や例の提示の工夫
 - ③ 根拠や理由を明確にして表現させる教材や指導法の工夫
 - ④ 考えを見つめ直し、交流によって練り上げる学習活動の工夫
 - ⑤ その他の指導の工夫 ※平成30年度は特に④を重点とする。
- (2) 考えをもった状態や広げ深めた状態、学び合っている状態、高め合っている状態を見取る目を養うことと、教員同士のイメージを表現することによる教員相互の学び合い
 - ① 授業研究会の実施 ② 授業交流会の実施 ③ 自主交流会の実施
- (3) 授業以外の児童の学習活動の充実
 - ① 効果的な朝の学習や補充的学習（パワーアップタイム）の実施
 - ② 家庭との協力体制による家庭学習の習慣化 ③ 学習規律の検討と確立
- (4) 授業研究の実際
 - ・ 平成30年度国分寺小学校教師による授業研究の足跡を表1に示した。表1に示したものの以外にも、小中交流授業や学習指導案なしの自主交流会も行われた。

表1：H30 国分寺小学校教師による授業研究の足跡（2019/01/08 現在、学習指導略案ありのもののみ）

No.	日（曜日）	種別	学年・組	授業者	教科	題材名
1	6/25(月)	授業交流会	5年3組	及川 円加	道徳	人権「女性問題」
2	7/09(月)	授業交流会	しいの木4組	倉井 正子	生活単元	しいの木ショップを成功させよう
3	7/11(水)	学校課題（S&U）	6年2組	齊藤 啓幸	国語	未来がよりよくあるために（書く）
4	9/10(月)	正式訪問	2年3組	金倉 英里	算数	水のりょう（体積の単位と測定）
5	9/10(月)	正式訪問	3年2組	鈴木 香苗	道徳	しんぱんは自分たちで（正しく強い心）
6	9/12(水)	学校課題（S&U）	3年3組	佐々木 功一	国語	すがたをかえる大豆（説明文読み）

No.	日(曜日)	種別	学年・組	授業者	教科	題材名
7	9/19(月)	授業交流会	6年2組	石濱 啓貴 齊藤 啓幸	算数	クリップの重さを比べよう(比例と反比例)
8	10/15(月)	授業交流会	5年1組	近江 成美	道徳	すれちがい(相手の立場を考えて)
9	10/18(木)	小教研代表授業	2年2組	谷井 晴香	音楽	いい音見つけて「ゆかいな時計」「森のたんけんたい」
10	10/18(木)	小教研代表授業	6年1組	高橋 敦子	音楽	音のスケッチ「じゅんかんコードから音楽をつくろう」「カノン」
11	10/22(月)	授業交流会	1年3組	若林 増美	国語	しらせたいな、見せたいな(書く)
12	10/24(水)	学校課題(S&U)	5年2組	草場 大樹	道徳	すれちがい(相手の立場を考えて)
13	10/29(月)	授業交流会	1年2組	渡邊 有理子	国語	しらせたいな、見せたいな(書く)
14	10/31(水)	学校課題	1年1組	館野 如美	国語	しらせたいな、見せたいな(書く)
15	11/12(月)	授業交流会	3年1組	柴山 朋子	国語	ちいちゃんのかげおくり(文学読み)
16	11/14(水)	授業交流会	4年1組	福島 久子	国語	アップとルーズで伝える(説明文読み)
17	11/21(水)	中堅教員研修	2年1組	大栗 潤子	道徳	なすの花(自分のやるべきことをやり遂げる)
18	11/22(木)	授業交流会	しいの木1組	湯澤 悠貴	国語	行事の思い出を分かりやすく伝えよう
19	11/22(木)	授業交流会	しいの木2組	岡田 親亮	算数	計算をしよう
20	11/26(月)	授業交流会	しいの木3組	平山 大介	国語	「クラブ活動リーフレット」を作ろう(書く)
21	11/28(水)	学校課題(S&U)	2年1組	大栗 潤子	国語	おもちゃの作り方(書く)
22	12/03(月)	授業交流会	4年3組	竹内 清恵	国語	アップとルーズで伝える(説明文読み)
23	12/12(水)	学校課題	4年2組	塩田 理紗	国語	アップとルーズで伝える(説明文読み)

4 本年度の成果と課題

(1) 自分の考えをもち、広げ深める児童の育成について

- 1年次に得た国語科の授業づくりの4つの視点(教材の特性を研究、発達段階と実態を考慮、問い方を検討、技能や語彙量は長期的視点で)を普段から意識して授業を行った。その上で、2年次は、3(1)④を中心に研究を進めてきた。具体的には副題の通り、国語科を中心に、「学び合い高め合う」授業を目指した。その結果、「学び合い高め合うための条件」としても、4つの視点が重要であることを確認した。さらに、国語科の各領域のつながりや発達段階、子どもの学習時の心理、情報配列の重要性、批判的に教材研究に当たる必要性等の視点を得ることができた。また、「学び合い高め合う」ためには、異なる意見も安心して出せる普段の学級経営が大切であることを再確認した。学び合い高め合うための課題の検討と、コミュニケーションをとることの苦手な児童への支援の在り方を、引き続き研究していく必要がある。

(2) 考えをもった状態や広げ深めた状態、学び合っている状態、高め合っている状態を見取る目を養うことと、教員同士のイメージを表現することによる教員相互の学び合い

- 授業研究会では、少人数グループでの話し合いで、一人一人が意見を言い合うことで相互に学ぶことができた。1年次の最後に行った「授業によって、参観する班をあらかじめ指定する授業研究」に加え、「特定の児童(指定)に着目する授業研究」、「任意の児童に着目する授業研究」等、見取る子どもを限定することで、1年次よりもさらに、子どもの姿を出発点とした議論ができた。

その反面、教師の指導の在り方や方法についての継続・発展的な研究とすることが難しかった。研究授業と研究授業の間に、教師同士のイメージを表現し合う場を設定する必要がある。時間の確保も含め、次年度の課題である。



(3) 授業以外の児童の学習活動の充実について

- 1年次に引き続き、学習に困難を感じていて個別学習を希望する児童を、朝の学習時に集めて学習するパワーアップタイムを行い、該当児童の学力の定着を図ることができた。